

平成21年12月期 第2四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 セーラー万年筆株式会社
 コード番号 7992 URL <http://www.sailor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 碓井 初秋
 (氏名) 山崎 彰

TEL 03-3846-2651

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第2四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第2四半期	3,253	—	△112	—	△109	—	△109	—
20年12月期第2四半期	4,385	△6.1	△82	—	△102	—	△45	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第2四半期	△2.45	—
20年12月期第2四半期	△1.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第2四半期	7,533	2,183	28.7	48.49
20年12月期	8,419	2,225	26.2	49.49

(参考) 自己資本 21年12月期第2四半期 2,163百万円 20年12月期 2,207百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	△13.9	100	—	50	—	30	—	0.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年12月期第2四半期 | 44,710,587株 | 20年12月期 | 44,710,587株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年12月期第2四半期 | 102,390株 | 20年12月期 | 93,943株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年12月期第2四半期 | 44,612,909株 | 20年12月期第2四半期 | 44,629,684株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等に関する記述は現時点で入手可能な情報に基づき算出した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、3ページ「定性的情報・財務諸表等 3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間（平成21年1月1日～平成21年6月30日）の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的不況の影響が持続し、一部の景気動向調査では景気の底打ちが伝えられたものの、企業設備投資の停滞や個人消費の低迷状況が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は32億5千3百万円（前年同期比25.8%減）と大幅に減少しました。これに伴い損益に関しましては製造費用をはじめ、販売費及び一般管理費の徹底した削減に努めましたが、売上高の減少による影響を吸収することが出来ず、営業損失1億1千2百万円、経常損失1億9百万円、四半期純損失1億9百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（ロボット機器部門）

国内外の企業の設備投資の停滞は底を脱しつつあり、受注も回復基調にはありますが、未だ途上にあり売上高は6億8千万円（前年同期比45.6%減）にとどまり、営業損失は8千3百万円となりました。

（文具部門）

遊技場業界向けは回復基調にあるものの、個人消費及び法人需要の低迷による影響は大きく、売上高は25億7千2百万円（前年同期比17.9%減）、営業損失2千9百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

（資産の状況）

資産合計は、前連結会計年度末に比べて8億8千6百万円減少し、75億3千3百万円になりました。このうち流動資産は受取手形及び売掛金が減少したことにより6億1千1百万円減少し、42億2千8百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の売却及び保険積立金の解約により2億7千5百万円減少し、33億4百万円となりました。

（負債の状況）

流動負債は前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金4億6千2百万円、短期借入金3億1千9百万円の減少があり、固定負債よりの移動分として1年内返済長期借入金3億円、1年内償還社債3億2千万円の増加等により、前期末より1億9千1百万円減少し39億3百万円となりました。

固定負債は、社債3億5千5百万円、長期借入金3億1千6百万円の減少により、前期末より6億5千2百万円減少し、14億4千6百万円となりました。

（純資産の状況）

純資産は前連結会計年度末に比べ4千2百万円減少し、21億8千3百万円となりました。また、資本金を33億8千万円、資本準備金5億円を減少し欠損填補を行ったため、資本金は20億円、資本剰余金は3億6千8百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー資金の増加は1億6千9百万円となりました。主な要因は、売上債権の減少額6億1百万円、仕入債務の減少額4億6千8百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー資金の増加は2億9千3百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入1億8百万円、役員退職金制度の廃止に伴う投資活動その他収入純額2億5千4百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フロー資金の減少は3億7千1百万円となりました。主な要因は、短期借入金の返済3億1千9百万円及び社債の償還3千5百万円であります。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は9千4百万円増加して、7億7千4百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年度の第3四半期以降を展望しますと、国外では一部地域での需要回復が伝えられていますが、国内経済はまだ十分な回復状態には至らず、企業の設備投資や個人消費は底を脱して行く過程にあると思われます。

このような経済環境のもと、当社グループのセグメントの見通しは以下のとおりであります。

（ロボット機器部門）

東南アジアを中心に引合案件は増加中であり、従来の標準機に加えて新型標準取出機R Z - Σや携帯電話用のミニナット自動インサートシステムをはじめとした新製品による受注拡大を図ります。また、製造工程の見直し

及び原材料費の削減による原価低減や販売管理費用の削減等徹底した経費圧縮に努めてまいります。

(文具部門)

個人消費及び法人需要の低迷は引き続きものと考えられますが、生活環境の安全化に対応した全面光触媒文具「セラビカシリーズ」を発売するとともに、万年筆ブームの再来に伴う新製品として吸入式万年筆「プロフィットレアロ」を発売いたします。また、回復基調にある遊技場業界向けについては安定した売上高が見込まれます。経費削減策としては、材料費を含む製造費用及び仕入商品価格の見直しを行い売上原価率の低減を図るとともに、販売管理費用の削減等を徹底してまいります。

平成21年2月24日に公表いたしました、平成21年12月期の業績予想につきまして修正いたしております。

本日公表の「業績予想の修正等に関するお知らせ」をご参照してください。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	779,067	684,208
受取手形及び売掛金	1,537,401	2,139,218
たな卸資産	1,795,915	1,875,619
その他	133,095	158,364
貸倒引当金	△17,159	△18,089
流動資産合計	4,228,320	4,839,321
固定資産		
有形固定資産	2,166,159	2,197,831
無形固定資産	16,254	17,644
投資その他の資産		
投資有価証券	963,481	925,302
その他	474,506	751,630
貸倒引当金	△315,633	△312,613
投資その他の資産合計	1,122,354	1,364,320
固定資産合計	3,304,768	3,579,796
資産合計	7,533,088	8,419,117
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	845,477	1,307,543
短期借入金	1,812,900	2,132,000
1年内返済予定の長期借入金	433,200	133,200
1年内償還予定の社債	590,000	270,000
未払法人税等	18,047	27,169
賞与引当金	6,645	12,605
その他	197,310	212,801
流動負債合計	3,903,581	4,095,319
固定負債		
社債	—	355,000
長期借入金	41,900	358,500
退職給付引当金	895,105	894,950
繰延税金負債	61,866	42,498
再評価に係る繰延税金負債	447,293	447,293
固定負債合計	1,446,165	2,098,242
負債合計	5,349,747	6,193,562

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	5,381,449
資本剰余金	368,695	500,000
利益剰余金	△22,878	△3,426,141
自己株式	△19,060	△18,608
株主資本合計	2,326,756	2,436,699
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150,388	86,277
土地再評価差額金	△309,014	△309,014
為替換算調整勘定	△4,927	△6,103
評価・換算差額等合計	△163,552	△228,839
少数株主持分	20,137	17,695
純資産合計	2,183,341	2,225,555
負債純資産合計	7,533,088	8,419,117

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,253,213
売上原価	2,365,329
売上総利益	887,883
販売費及び一般管理費	1,000,643
営業損失(△)	△112,760
営業外収益	
受取利息	648
受取配当金	10,599
為替差益	16,344
持分法による投資利益	15,138
その他	3,578
営業外収益合計	46,310
営業外費用	
支払利息	37,452
その他	5,345
営業外費用合計	42,797
経常損失(△)	△109,247
特別利益	
投資有価証券売却益	46,222
特別利益合計	46,222
特別損失	
たな卸資産評価損	6,380
貸倒引当金繰入額	2,090
保険解約損	21,474
固定資産除売却損	2,098
その他	2,257
特別損失合計	34,300
税金等調整前四半期純損失(△)	△97,325
法人税、住民税及び事業税	10,686
少数株主利益	1,479
四半期純損失(△)	△109,491

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

	ロボット事業 (千円)	文具事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	680,671	2,572,541	3,253,213	—	3,253,213
営業費用	764,022	2,601,951	3,365,973	—	3,365,973
営業利益	△83,350	△29,409	△112,760	—	△112,760

〔所在地別セグメント情報〕

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	3,033,366	176,142	43,703	3,253,213	—	3,253,213
営業費用	3,150,452	173,266	42,254	3,365,973	—	3,365,973
営業利益	△117,086	2,875	1,449	△112,760	—	△112,760

〔海外売上高〕

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	139,189	39,998	181,504	4,237	364,929
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	—	3,253,213
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	4.3	1.2	5.6	0.1	11.2

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		4,385
II 売上原価		3,129
売上総利益		1,256
III 販売費及び一般管理費		1,339
営業損失 (△)		△82
IV 営業外収益		44
1. 受取利息及び受取配当金	15	
2. 持分法による投資利益	21	
3. その他	6	
V 営業外費用		64
1. 支払利息	44	
2. 為替差損	10	
3. その他	9	
経常損失 (△)		△102
VI 特別利益		237
1. 貸倒引当金戻入益	3	
2. 退職給付制度変更益	232	
3. その他	0	
VII 特別損失		165
1. 固定資産除売却損	3	
2. 過年度役員退職慰労引当 金繰入額	162	
税金等調整前中間純損失 (△)		△30
法人税、住民税及び事業 税		10
少数株主利益		4
中間純損失 (△)		△45

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益 又は中間純損失(△)	△30
減価償却費	96
固定資産売却・除却損	3
貸倒引当金の増減額	△3
役員退職慰労引当金の増 加額	166
退職給付引当金の増減額	△190
受取利息及び受取配当金	△15
支払利息	44
持分法による投資利益	△21
為替差損又は為替差益	△1
売上債権の増減額	235
棚卸資産の増減額	△18
仕入債務の増減額	32
その他	38
小計	335
利息及び配当金の受取 額	12
利息の支払額	△51
法人税等の支払額	△21
営業活動によるキャッシ ュ・フロー	274
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支 出	△5
定期預金の払戻による収 入	5
有形固定資産の取得によ る支出	△55
有形固定資産の売却によ る収入	0
無形固定資産の取得によ る支出	△2
投資有価証券の取得によ る支出	△2
投資有価証券の売却によ る収入	11
その他	△11
投資活動によるキャッシ ュ・フロー	△57

	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	△813
長期借入金による収入	300
長期借入金の返済による支出	—
社債の償還による支出	△35
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△548
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1
V 現金及び現金同等物の増加額	△330
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,336
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,005

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日）

	ロボット機器 (百万円)	文具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,250	3,134	4,385	—	4,385
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,250	3,134	4,385	—	4,385
営業費用	1,325	3,142	4,468	—	4,468
営業利益	△74	△7	△82	—	△82

(注)

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,105	170	110	4,385	—	4,385
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,105	170	110	4,385	—	4,385
営業費用	4,221	161	85	4,468	—	4,468
営業利益	△116	9	24	△82	—	△82

(注)

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（百万円）	286	100	194	3	586
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	4,385
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	6.5	2.3	4.4	0.1	13.4

6. その他の情報

該当事項はありません。